

1. 件名：福島第一原子力発電所における環境線量低減対策に係る面談
2. 日時：令和5年11月28日（火）13：30～14：10
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁 原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
松田室長補佐、椎名係長
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー 担当2名
5. 要旨：
 - 東京電力ホールディングス株式会社より、福島第一原子力発電所における環境線量低減対策について、資料に基づき主に以下の説明があった。
 - タービン建屋東側における地下水、排水路及び海水中の放射性物質濃度の状況
 - ✓ 地下水の全βにおける分析結果について、一部の地点において一時的に値が上昇しているものの現在は上昇前の値に戻っており、全体としては横ばい傾向である。
 - ✓ 港湾外で採取した海水中のトリチウム分析結果について、放出口付近では拡散の途上であることから、拡散シミュレーションによる評価による不確かさの範囲内で推移している。
 - 原子力規制庁は、上記説明内容について確認した。
6. その他
資料：
 - 環境線量低減対策スケジュール
 - タービン建屋東側における地下水及び海水中の放射性物質濃度の状況について
 - 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果（2023年10月）
 - 別紙 1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量評価結果 2023年10月評価分（詳細データ）
 - 空气中放射性物質濃度の分析結果（1～4号機）
 - 参考 多核種除去設備等処理水の取扱いに関する海域モニタリングの状況について

以上